

江部乙地区における中学校のあり方に係る懇談会	
開催日時	平成30年11月29日（木） 午後6時30分から午後7時30分まで
開催場所	農村環境改善センター
参加者	8名
その他の出席者	山崎教育長 田中教育部長 栗井指導参事 諏佐教育総務課長 寺嶋教育総務課長補佐 後呂教育総務係長 阿部事務補
議 事	1 開会 進行 田中教育部長 2 教育長あいさつ ・山崎教育長 3 これまでの検討経過について…………… 資料1 ・寺嶋教育総務課長補佐より資料1に基づき説明 4 保護者を対象としたアンケート結果について…………… 資料2 ・後呂教育総務係長より資料2に基づき説明 5 今後の方向性とスケジュールについて…………… 資料3 ・諏佐教育総務課長より資料3に基づき説明 6 意見交換 進行 田中教育部長 ・質問1～全体的に少人数のデメリットについて説明があったが、児童生徒への弊害などの具体例はあるのか。 ・諏佐教育総務課長～少人数学級の良さは十分にあると思いますが、一方で集団での学びが重要だと考えております。滝川市全体の教育を考えたときに、集団の中で学べる教育環境など、同じ条件を揃えていく必要があるのではないかと考えております。少人数の弊害ではなく、集団でのメリットについて、是非考えを持っていただければと思います。 ・田中教育部長～少人数学級について、体育の授業で考えると人数の制限があり、できないゲーム等があります。また、学力について、少人数学級だと大きな集団で見たとき、自分がどのくらいの位置にいるのか見えづらい部分があるという意見もありました。

- ・質問 2～子供たちを対象に統合、または少人数に対しての意見を聞く機会を持ったことがあるのか。
- ・諏佐教育総務課長～実施しておりません。
- ・田中教育部長～特に小学生に統合の適否を判断してもらうには少し難しいのではと思います。そのため、保護者向けアンケートを実施させていただきました。
- ・質問 3～江陵中学校に統合するという案が出ているが、江陵中学校自体が老朽化していると思う。今の状態で学校がもつのか。また、自衛隊員が増員されると聞いているが、児童生徒数にも影響するのでは。今の学校で規模や構造が耐えうるのか。
- ・諏佐教育総務課長～キャパシティとしては多くの教室がありますので、問題はないと考えられます。しかし、施設については老朽化が進んでおり、ある程度の時期には改修が必要だと思っています。現時点では具体的な改修時期についてお答えができませんが、大規模な改修を行わなければならない状況だと認識しております。
- ・田中教育部長～自衛隊員の動向について、現在、滝川第一小学校の児童が少しずつ増えてきています。これらについては、自衛隊の影響があると思います。最終的な自衛隊員の動向及び児童生徒数につきましては、平成 31 年度まで待たなければ状況が分からないため、現段階では見通せていない状況です。
 学校内の老朽化対策について、市内の学校はいち早く耐震化しております。滝川第三小学校と開西中学校につきましては、耐震化ができなかったため先に大規模改修を行いました。また、大規模改修につきまして、何年も議論しておりますが、滝川市の財政状況を考えると大変厳しい状況です。現在も市長、教育長の協議は続けております。何年後かには大規模改修をやらなければならないと考えております。平成 34 年度に統合を予定しておりますが、平成 34 年度までに大規模改修ができるという約束はできませんが、教育委員会として懸命に取り組んでいきたいと思っています。
- ・質問 4～江陵中学校と統合するとしても江部乙中学校に統合すればよいという声も一部ある。学校を中間地点に整備できないのか。
- ・諏佐教育総務課長～心情としては理解しますが、現実的な問題を考えると難しいと思います。
- ・田中教育部長～江部乙中学校の学校規模や江陵中学校区である滝川第一小学校と滝川第二小学校の児童について考えると江部乙中学校に統合するのは現実的ではないと思

います。

- ・質問5～中学校が無くなると、次は小学校もなくなるのではないかという不安がある。小学校についてはどのように考えているのか。

- ・諏佐教育総務課長～人口の推移などを考えると今後、判断しなければならない時期が来るかもしれませんが、当面は統合しないと考えております。

- ・田中教育部長～これまでの議論の中でも出ておりますが、小学校は1年生から6年生まで体力の差が大幅に違います。特に低学年にスクールバスなどで30分以上かけて通学させるのは負担になると考えております。そのため、小学校については当面の期間存続いたします。

教育委員会としては、子供たちの教育環境を基盤に考えていきたいと思っております。また、来年に地域懇談会を開催したいと考えておりますので、市長部局と調整しながら開催時期を考えていきたいと思っております。

- ・質問6～今までと同じようなスクールバスでは通学が難しい状況も出てくるのではないかと。タクシーを用意している事例もあると聞くが、どのような考えがあるか。

- ・諏佐教育総務課長～様々な通学方法があると思いますが、現時点ではスクールバスでの通学を前提として考えております。具体的に通学にどれくらい時間がかかるかなどはお住まいの地域によって変わってくると思います。今後、通学の方法やコスト面など検討させていただきたいと思います。

- ・田中教育部長～スクールバスについて、江部乙地区では現在3系統で走っています。今後決めていくことになりますが、その時に子供たちの配置がどのようになっているのかを想定しなければなりません。部活動などで帰りが遅くなることがありますので、往復するスクールバスに配慮が必要になると思います。

また、懇談会において、道の駅に子供たちを集めて路線バスで通学ができるのではないかと意見がありました。その時に地域交通の問題もありますが、様々な選択肢がありますので、教育委員会で話し合っていきたいと思っております。

- ・質問7～統合する場合、各学年は段階的な移行となるのか。または、一度に3学年が移行するのか。

- ・諏佐教育総務課長～一度に3学年を移行する予定です。2、3年生は学年途中で学校を変えなければなりませんので、十分な交流の機会を持つ必要があると思っております。1～2年かけて同世代の生徒が交流できる場を設けながら、スムーズに移行でき

るような関係性を作り上げていきたいと思います。

- ・質問 8～統合準備委員会は江部乙の関係者のみで組織するのか。または、統合先の関係者も入るのか。

- ・諏佐教育総務課長～現時点では検討段階です。関係する学校の保護者や教諭に参加していただき、実施したいと考えております。

- ・質問 9～スクールバスの想定時間はどの程度か。

- ・諏佐教育総務課長～現時点で一番遠い生徒は約 40 分かけて通学しております。このことを踏まえると、同じ方法であれば、単純に江部乙から江陵中学校までの移動時間 10 分程度を加えた約 50 分くらいの時間がかかると思われます。

- ・田中教育部長～現時点で一番早く通学している生徒は 7 時 35 分に家を出ています。

- ・質問 10～交流事業は中学生同士だけか。小学生はどのように考えているのか。

- ・諏佐教育総務課長～江部乙小学校と滝川第一小学校、滝川第二小学校の児童が対象となりますので、統合前には小学校段階での交流も必要であると考えております。そのため、中学校同士の交流だけではなく、小学校段階からの交流も考えております。

- ・質問 11～途中から統合で移行する世代は、友人との関係づくりが難しいのではないかと心配がある。江部乙の子供たちを同じクラスにするなどの配慮はしてもらえるのか。

- ・諏佐教育総務課長～今後、検討させていただきます。

- ・田中教育部長～非常に配慮が必要な部分になると思います。子供たちのストレスにならないよう、取り組んでいきたいと思います。

- ・質問 12～中学校の跡地が残るがその後の利用について何か考えているのか。

- ・諏佐教育総務課長～跡地につきましては、学校統合と並行して取り組まなければならない課題だと考えております。統合に向けて準備していくと共に、市長部局と連携し、地域の活性化に繋がるような活用ができればと思います。

- ・全体として

・栗井指導参事～少人数で教育を受けるというのはたくさんのメリットがあると思います。しかし、子供たちを見ていて強く心配に思ったのは、大きな集団への適応です。小、中学校を江部乙で過ごし、良い教育を受けても、高校では友達と離れてしまう場合が多く、うまく高校生活、集団生活ができるのかという不安があります。江部乙で考えると、部活動にも制限がかかってしまうため高校でもやりたい部活動が中々見つからない生徒もいます。このような点を総合的に考えると統合すべきだと思います。

7 閉会